

地盤調査規格・基準委員会

平成28年度第2回 議事録

日時	平成28年12月14日（水）14:00～15:30		場所	地盤工学会 会議室				
委員長	末政 直晃	○	幹事（岩）		幹事（土）	浜田 英治	○	
委員	久内 伸夫	×	WG1委員	窪田 健二	×	WG2委員	辻野 敏文	○
WG2委員	中野 義仁	○	WG3委員	竹内 真司	×	WG3委員	小松 満	○
WG4委員	平林 弘	×	WG5委員	小早川 博亮	○	WG5委員	百瀬 忍	○
WG6委員	曾田 英揮	○	WG7委員	浅井 健一	○	WG7委員	吉田 輝	○
WG8委員	伊藤 圭二郎	×	WG9委員	長田 昌彦	×	WG10委員	杉井 俊夫	
WG10委員	細谷 真一		WG11委員	平林 弘:兼務	×	WG13(幹事)	横山 幸也	

○：出席 ◎：代理出席 ×：欠席 △：未定

配布資料

委員会名	資料	資料の有無・番号
地盤調査規格・基準委員会	・ 前回議事録（H28-08-10）	・ 資料28-2-1
基準部会	・ H28第3回（H28.09.02）議事録 ・ H28第4回（H28.11.04）議事録	・ 資料28-2-2 ・ 資料28-2-3
ワーキング3	・ WG3活動報告（議事録）	・ 資料28-2-4
	・ 「地下水調査に用いる井戸理論式の整及び解説（2016年度版）」公開版の素案	・ 回覧
ワーキング10	・ WG10活動報告（議事録）	・ 資料28-2-5
	・ 「地下水面より上の地盤を対象とした透水試験方法」基準素案（基準修正対照表，意見回答を含む） ・ 同解説案	・ 資料28-2-6 ・ 回覧
ワーキング6	・ 現場密度試験のRI 線源棒の取り扱いについて	・ 資料28-2-7
ワーキング5 新設WGの設立	・ 岩盤の原位置一軸・三軸試験方法基準化WGの設立趣意書	・ 資料28-2-8
基準部会（英訳実行委員会）	・ 英訳作業進捗状況（地盤調査）	・ 資料28-2-9
会員からの質問	・ 平板載荷試験	・ 資料28-2-10

審議事項

- 「地下水調査に用いる井戸理論式の整及び解説（2016年度版）」公開版の素案～地盤工学会ウェブサイトへの公開用
 - ・ 小松委員より資料の説明があった。
 - 質問・意見等があったら、メールにて審議することとした。
 - 基準部会での審議事項
- 「地下水面より上の盤を対象とした透水試験方法」基準素案（基準修正対照表，意見回答を含む）及び同解説案
 - ・ 回覧資料

- ・資料28-2-6
- ・回覧資料

- ・小松委員より資料の内容と、会員からの質問への対応について説明があった。
 - 第51回地盤工学研究発表会で、本基準案の内容について発表した。
 - 第52回地盤工学研究発表会で、本試験法についてのディスカッションセッションを設ける。
 - 解説「まえがき」の最後の部分に、本試験法の適用に関しての説明書を追加した。
 - ・委員より以下の意見が出された。
 - 追加された基準案の「1適用範囲」の「注記」部分は、利用者に誤解を与えかねないので、基準としては相応しくないのではないか。
 - 上記の部分は「解説」で述べたらどうか。
 - 以上より、基準案の「1適用範囲」の「注記」部分は削除して、解説に記述することとした。
 - 基準素案及び同解説に関し、その他の質問・意見等があったら、メールにて審議することとした。
- 基準部会での審議事項（基準の修正案のみ）**

(3) 岩盤の原位置一軸・三軸試験方法基準化WGの設立趣意書

- ・資料28-2-8

- ・小早川委員より、上記の設立趣意書について説明があった。
- ・委員より以下の意見が出された。
 - 検討委員会の活動報告（議事録等）や論文等の関連資料が必要でないか。
 - 原位置一軸引張り試験、孔底一軸圧縮試験、孔底三軸圧縮試験については、まだ検討段階と思われるので、今回提出の設立趣意書からは外した方がよいのではないか。
- ・以上より、本設立趣意書は、次回委員会にて再提出して頂くこととした。
- ・WG5に過去の基準設立趣意書及びその付属資料を、見本として提供することとした（浜田幹事対応）。

報告事項

- (1) 前回議事録確認（メール審議で承認済み）（資料28-2-1）
 - ・特に異議なし。
- (2) H28第3回の基準部会議事録（メール配信にて報告済み）（資料28-2-2）
 - ・特に異議なし。
- (3) H28第4回の基準部会議事録（資料28-2-3）
 - ・特に異議なし。
- (4) ワーキング3活動報告「議事録」（資料28-2-4）
 - ・小松委員より、議事録に基づいてワーキング3の活動報告があった。
 - ・WG3から、熱利用（TRT:サーマルレスポンステスト）についての本委員会での取扱いについて質問があった。
 - 意見交換の結果、他のWGでも情報収集して頂き、必要に応じてWG設立趣意書を出してもらうこととした。
 - ・昨年度の親委員会で、JGS基準を積極的にJIS化していったらどうかとの意見が出されたので、WG3でも意見交換した。その結果、地下水調査はJIS化に相応しい結果への精度が担保されないので、JIS規格には馴染まないとの意見で一致した。
 - このWG3からの意見については、特に異論なし。なお各WGでJIS化したい、あるいはJIS化した方がよいJGS基準があれば、今後も提案して頂くこととした。
 - ・小松委員より、H28年度のWG3の委員会開催回数が3回になっているが、出来れば1回分追加して合計4回としたい、との要望があった。
 - 本件については、WG3の幹事より事務局に予算を確認して頂くこととした。

→**基準部会への報告事項**

- (5) ワーキング10活動報告「議事録」（資料28-2-5）
 - ・小松委員より、議事録に基づいてワーキング10の活動報告があった。また、WG10は今年度で解散し、

今後の活動はWG3が引き取る予定との報告があった。

→特に異議なし。

→基準部会への報告事項

- (6) 現場密度試験のRI 線源棒の取り扱いについて (資料28-2-7)
- ・曾田委員より、現場密度試験のRI 線源棒の取り扱いに関する打合せ内容について説明があった。
 - 規格・基準委員会としては、本件は試験方法に関する事項ではなく、安全管理に関する事項なので、基準改正等の対象ではないとの見解で全員一致した。

→基準部会への報告事項

- (7) 英訳作業進捗状況 (地盤調査) (資料28-2-9)
- ・浜田幹事より、英訳作業の進捗状況 (地盤調査) について報告があった。
 - 特に異議なし。
- (8) 会員からの質問と回答 (資料28-2-10)
- ・平板載荷試験
 - ・小早川委員より、回答文の説明があった。
 - 特に異議なし。

その他

- ・次回の委員会開催予定について
- 次回 (第3回) は2月中を予定し、「動的コーン貫入試験方法JIS原案作成委員会」と同日開催とすることとした。